

○平成 29 年度教育事業

「子どもたちのワンダーランド」(H29.12.26 (火) ~H30.1.14 (日))

子どもたちのワンダーランド

冬休み!
ともだちと思い出をつくらう

なかよしグループで泊まれる!

何できる? ●冬の旭山動物園見学 ●空中テント体験
●カレー作り ●スノーシューハイク 他

とまれる日

※冬休みの下記期間(宿泊可能日)。下記日域内で、宿泊希望日を決めてお申込みください。
●平成 29 年 12 月 26 日(火)・27 日(水)
●平成 30 年 1 月 5 日(金)・6 日(土)・7 日(日)・8 日(月・祝)
9 日(火)・10 日(水)・11 日(木)・12 日(金)・13 日(土)

冬休み期間を利用して、国立大雪青少年交流の家へ子供だけで宿泊してみませんか? 「子供だけ」の宿泊であっても、施設の職員が生活館や活動の応援をしますよ。また、プログラム内容は裏面をみてね。ぜひ、お友達を誘って一緒に冬を楽しみましょう!

独立行政法人 国立青少年教育振興機構 〒071-0235 北海道上川郡美瑛町白金温泉
国立大雪青少年交流の家 TEL: 0166-94-3121 FAX: 0166-94-3223
National Taisetsu Youth Friendship Center e-mail: taisetsu-suishinshitsu@niye.go.jp
担当者 秋山・森田・天崎

◆目的

小学生が冬休みを利用して、子供達だけで宿泊活動を行い、自分たちで企画した自然体験を始めとする体験活動、集団宿泊活動、他団体との交流を体験することを通して、生活リズムの向上に資するとともに、地域の自然環境、体験活動の楽しさを感じ取り、併せて子供の自主・自立の心を育てる。

◆参加実績

参加 29 グループ 108 名

①学年 小学校 3 年生: 34 名
4 年生: 39 名
5 年生: 15 名
6 年生: 18 名
指導者: 2 名

※指導者とは、遠方の名寄からの 1 泊引率のため宿泊を希望された方

②男女別 男 47 名、女 61 名

③地域別 旭川市: 66 名
名寄市: 17 名
富良野市: 8 名
上富良野町: 7 名
東神楽町: 5 名
東川町: 4 名
札幌市: 1 名

◆プログラム

グループ単位で子供たちだけで宿泊し、提示したプログラムから、子供たちが選択したプログラムを実施。提示したプログラムは以下のとおり。

① 雪上ハイキング	スノーシュー(洋風カンジキ)を履いて冬の森を探検
② 雪上活動(そり遊び・スノーラフティング)	敷地内特設コースでのそり遊び・グラウンドでのバナナボート体験
③ 雪上活動(クロスカントリースキー)	敷地内グラウンド等でクロスカントリースキーの体験
④ 雪上活動(イグルー作り・スノーキャンドル)	森の中で簡単なイグルー(雪のブロックで作った家)を制作 天候が良ければ夜にキャンドルで幻想的な雰囲気体験
⑤ クラフト活動	創作活動の体験。種目は次のとおり(有料) ①プラ版(150 円) ②手作りストラップ(100 円) ③アロマキャンドル(100 円) ④七宝焼き(キーホルダー)(400 円) ⑤松ぼっくりツリー(100 円) ⑥マイスプーン作り(200 円) ⑦紙袋ランタン(100 円)
⑥ ニュースポーツ	室内カーリングなど室内スポーツを体験
⑦ 空中テント体験	屋外の森の中に設置した空中テント・ロープ遊びを体験

⑧ 旭山動物園見学	旭山動物園で、北海道の動物の生態などについて学ぶ 注:1/6(土)9:00～14:00・13(土)9:00～14:00 のみの体験 レストランの弁当(500 円)を持参
⑨ 炊事体験	カレーライスの調理体験(食材はレストランで準備。別料金)

<プログラム実施状況・延体験者数>

雪上ハイキング	10 団体・42 名
雪上活動（そり遊び・スノーラフティング）	20 団体・65 名
雪上活動（クロスカントリースキー）	2 団体・8 名
雪上活動（イグルー作り）	15 団体・59 名
雪上活動（スノーキャンドル）	4 団体・15 名
空中テント体験	20 団体・76 名

クラフト プラ版	8 団体・29 名
クラフト 手作りストラップ	11 団体・33 名
クラフト アロマキャンドル	4 団体・13 名
クラフト 七宝焼き（キーホルダー）	5 団体・18 名
クラフト 松ぼっくりツリー	0 団体・0 名
クラフト マイスプーン作り	6 団体・19 名
クラフト 紙袋ランタン	4 団体・9 名
ニュースポーツ	16 団体・60 名
炊事体験	6 団体・20 名
宿題・読書・自由	8 団体・21 名

旭山動物園見学	5 団体・26 名
---------	-----------



<指導延職員数> ※ボランティア2名を含む 51名



◆成果

- ① 友達同士で参加が可能とすることで、一人では参加に踏み出せない子供達の参加意欲が高まり、予想以上の参加申し込みをいただくことができた。子供達が体験活動に参加しやすい条件整備の参考となる。
- ② 子供達が自分でプログラムを選択できることにより、活動への意欲や自主性を高められた。
- ③ 職員が直接指導の機会を得ることができたことで指導のスキルアップに繋がるとともに、青少年教育施設職員としてのやりがいや再認識することができた。また、様々な子供達と接することで、参加者理解の手法などについて学ぶ機会ともなった。

◆参加者の声

(参加者)

- ☐ 職員の人たちがわかりやすく教えてくれたので楽しかった。ニックネームで親しみやすかった。
- ☐ 自分で決めたりできて楽しい
- ☐ 自分で決めたこと以外にも楽しいプログラムがあった。
- ☐ バイキングの食事がとてもおいしかったです。なにかもが楽しかったのでまた来たいです。
- ☐ 学校みたいにピシッとしなきゃいけないと思ったけど、のびのび自由にできて楽しかった。
- ☐ お友達といろいろなことができて楽しかった。お風呂などの時





間は決められてると思ってたけど、13時～22時までだったのでゆっくりできた。楽しかった。

□自分たちで考え、話し合い、いろいろな事にチャレンジができて、これも良さだなと思います。

(保護者)

□子供たちが選んだアクティビティは全て外での活動でしたが、どの活動もすべてとても楽しくできて思い出になったようです。親から離れての1泊2日の生活は今後の自立に向けてとても役に立ったように思いました。ありがとうございました。

□ありがとうございました。通常の学校生活では学ぶことのできないこと

を経験することができたと思います。現在の事業は小学校の子供達にとっては将来への大きな経験への第一歩になると感じております。この時代に必要なことを職員の皆様の苦労や経験をこれからの子供達に伝えて欲しいと今後も願っております。

□施設に家族で泊まって利用できること、様々な企画をしらない人(学校によって案内が配られないことがある？あるいは全学校に案内がいていない？のでしょうか)が、まだまだ沢山いるような気がします。こんな素敵な企画、取り組みを多くの人に知ってほしいです。せっかくこんなに素晴らしい施設、自然があるのに～！あとFBのアップもとても楽しみにしています。親がついて写真が撮れないので、大変ですができるだけたくさん写真をアップしてほしいです。

□こまめに子供達に声かけをしてくださってありがとうございました。小さな不安などがなくなり、活動に集中できたのではと思います。余談ではありますが、子供たちのクラスでは次回の事業に参加するメンバーを気が早いようですが募っているようです。

□とにかく全てが楽しかったようです。ラフティングもそりもなんどもやっ
たし、寒くなったらココアも飲ませてもらえた！と。スノーシューでは汗
だくで遊べたと言っていました。スプーン作りは一番時間がかかったが、
一番上手にできた褒められて嬉しかったようです。同じ日程のグルー
プの子たちとも仲良くなれたようですし、布団のたたみ方に苦戦したこと、
掃除をしたことなど、初めての経験がたくさんあって、充実した2日間だったようです。

□とにかく楽しくてあと何泊でもしたかったと話しておりました。とても良い企画だと思うので、ぜひ夏も冬もお願いしたいです。好きな日をグループで選べるというのも最高でした。参加したくても別の用事と重なり、いけないことも多いので。

□公共バスでの送迎にしたため、心配な面もあったのですが、到着時と出発後に電話連絡をいただけたので、安心でき、よかったです。

□職員の配慮など付き添いが必要な子だったりする中で不安に思いましたが、事前に伝えておくことで手厚く見てくれて安心して預けることができ尚且つ少し成長して帰ってきたように思います又楽しいイベントを企画して下さい。ありがとうございました。



◆事業運営のツボ・工夫・反省

○子供達が選択した期間での宿泊、自ら選択するプログラムの体験としたことで、参加機会の増、参加意欲の向上、参加者の自主性を高められた。

○1グループ1名の職員支援を行い、安全管理の確立とともに、職員の直接指導のスキルアップを図った。

○活動開始時間帯を午前、午後、夜間でそれぞれ2時間に抑え、余裕を持った活動展開に繋がった。

○冬季屋外活動のフィールド開発を行えた(イグルー作り、空中テント、そり遊び等)

○活動支援をしやすいような事務手続きのルーティン化の確立を実施(到着時説明、出発時説明、団体の動きを共有するボード設置、物品配置)したことによる職員共有がスムーズに行えた。

●出発日の宿泊棟清掃から活動に移る時間が短く、子供たちに自主性をもたせた清掃指導ができなかった。

●一般研修支援団体の対応等を考えた場合、事業の職員負担が大きかった。

●イグルー作り・バナナボート体験・雪上ハイキング引率等の指導方法が、職員それぞれであったため、指導



法について一定のレベルを確保し、安全管理対策を確保するため、事前研修が必要である。

- プログラムの選択肢が少ないと感じるため、外部指導者によるプログラム設定により、選択の幅を増やすとともに、地域の教育力の活用を図ることも必要と思われる。

◆事業運営費 合計 167,433円

講師謝金・旅費	2名	24,580円	(ボランティア経費)
消耗品費		0円	
通信運搬費		64,689円	
印刷費		70,092円	
役務費		4,100円	(職員動物園入園料)
燃料費		3,972円	

